

県薬剤師会より災害ボランティア活動支援物資が寄贈される

「災害ボランティア活動支援物資募集キャンペーン」への

ご協力ありがとうございました

4月11日、県社協事務局において熊本県薬剤師会より熊本県ボランティアセンターに対し、「抗機能マスク」1,000枚が寄贈されました。これは薬剤師会の80周年記念事業の一環として、県社協の「災害ボランティア活動支援物資募集キャンペーン」にご協賛いただいたものです。

ボランティアセンターでは、みなさまからお預かりしたタオル・軍手・帽子等とともに備蓄を行い、

災害発生時等には円滑なボランティア活動が行われるよう物資を活用させていただきます。



県薬剤師会佐白会長から県社協中村常務理事へ寄贈された抗機能マスク

災害ボランティア活動支援物資 (5月25日現在)

タオル	1,251	枚
ハンドタオル	12	枚
手ぬぐい	13	枚
軍手	460	組
ゴム手袋	12	組
ぞうきん	193	枚
帽子	195	個
毛布	1	枚
マスク	1,002	枚
カイロ	193	個
石鹸	9	個
救急絆創膏	298	セット



“福祉教育DVD”を 県内全小中学校に配布

熊本県ボランティアセンターでは、ボランティア活動について学ぶことが出来るビデオ「福祉教育DVD」を作成し、県内の全小中学校に配布します。

「福祉教育DVD」は、これからボランティアについて学びたいという小学生・中学生のために作成されました。

DVDでは、ボランティアとは何かという基本的な知識から、ポ



慶誠高校(熊本市)の切手収集活動の様子取材しました



ボランティアクラブの様子

ランティアの種類、県内で行われているボランティア活動などをわかりやすく紹介し、ボランティア活動について自然に興味と関心がわくように作られています。

このDVDは、今夏県内全小中学校に1部ずつ配布する他、各市町村社会福祉協議会にも配布しています。視聴ご希望の方は、お近くの市町村社会福祉協議会ボランティアセンター、または熊本県ボランティアセンター(電話324-5436)までお問い合わせください。

社会福祉法人 阿蘇市社会福祉協議会

〒869-2301
熊本県阿蘇市内牧976-2
阿蘇保健福祉センター内
TEL 0967-32-1127



市町村社協
だより

※社協…「社会福祉協議会」の略。

地域のネットワークを活用した、 つながりのある福祉活動を行っています

住民に密接な地区づくり

阿蘇市社会福祉協議会は平成17年2月の阿蘇市誕生(阿蘇町、一の宮町、波野村の三町村合併)とともに発足しました。阿蘇市の高齢化率は29.4%(平成18年5月31日現在のデータより)。何らかの支援が必要な方々を家族だけではなく地域ぐるみで支えていくために、「小地域ネットワーク」による地域福祉活動が推進されています。

合併以前の平成9年から阿蘇郡市圏域では、ふれあい協力サポーターにより、日常的な「声掛け・ふれあい」での見守り支援をしています。また、前日の郵便物が残っていたら郵便局員や新聞配達員などが社協に連絡する、小学生が高齢者の家を訪問する、などの取り組みが行われています。さらに同市社協では、実際に活動を行う住民に、具体的な活動内容をより浸透させネットワーク強化を図るため、「阿蘇市やまびこネットワーク活動推進要領」を定めました。同要領の

もと、各地区の福祉課題の発見とその解決に向けた小地域ネットワーク活動を展開しています。住民相互の助け合いや交流の輪を広げ、ともに支えあう福祉のまちづくりがすすめられています。

活動の中心となるのは「地区ネットワーク連絡会」。「安心・安全・快適に暮らせる福祉でまちづくり」を合言葉に、住民に「一番身近な行政区単位のネットワークがつくられています。現在は阿蘇市全117行政区のうち51か所で連絡会が立ち上がり、活動が始まっています。構成メンバーは区長をはじめ、民生委員、福祉協力員、老人クラブ、婦人会、消防団、子ども会など、さまざまな年齢層のリーダー。地区の見守り活動を展開する協力員の情報交換の場として、公民館などで福祉課題についての検討を行っています。

同市社協では平成18年から、福祉活動専門員が3名でチームをつくり、各地区



左/レクリエーションサロンの様子

下/地区福祉座談会の様子
みなさん真剣です



を訪問しています。地区ネットワーク連絡会を立ち上げるため「地区福祉座談会」を開催し、地域住民との話し合いに力を注いでいます。昨年度は35地区、本年度は45地区で開催し、平成21年までに阿蘇市全行政区を訪問することになっています。

広がりを見せるネットワーク活動

地区福祉座談会などで週の半分は地